

エコマネジメント長野 環境部環境方針

環境部は、「エコマネジメント長野 環境方針」、「長野県気候危機突破方針」等を踏まえ、省資源・省エネルギーの取組を徹底するなど、部の事業活動に伴う環境への負荷の低減に努めるほか、施策の推進に当たっても最大限環境に配慮し、持続可能な脱炭素社会の実現に向けて取り組めます。

1 施策・環境の省エネルギー化の推進

○「県庁ゼロカーボンビル化・長寿命化プロジェクト」の始動

2 職員の行動変革による省エネルギーの推進

○執務室における節電の徹底

○整理整頓、打合せ・資料の簡素化、電子化

3 環境に配慮した事業の推進

○「長野県第五次環境基本計画」に基づく環境保全施策の総合的かつ計画的な推進

○開発事業等に係る環境負荷低減を図るための環境影響評価制度の適切な運用

○各所属における環境関連法令等の把握及び遵守の徹底

○県有施設のゼロエネルギー化を推進

・LED、高効率空調、断熱による省エネルギーの推進

・太陽光発電設備の設置など、再生可能エネルギーの導入

・使用電力を再エネ 100% 電力へスイッチング

○「長野県水環境保全条例」などに基づく水環境の保全と、長野県生活排水処理構想(2022 改訂版)などに基づく生活排水対策の推進

○ばい煙発生施設及びアスベスト排出作業への監視指導による大気環境保全と、ダイオキシン類をはじめとする化学物質対策の推進

○保護団体や、NPO 等と協働した希少野生動植物保護活動や、自然公園の利用者に対するマナーの普及啓発、美化活動などによる自然環境の保全

○「長野県廃棄物処理計画(第5期)」に基づく4R(Reduce、Reuse、Recycle、Replace)の推進、厳正迅速な監視指導による廃棄物適正処理の推進など、循環型社会の形成促進

○日常業務活動における「信州プラスチックスマート運動」などごみの分別や削減による環境負荷低減

このほか、職員は、使い捨てプラスチックの使用縮減（マイバック・マイ箸の持参、会議等でのマイボトル持参の推奨）、食べ残しの削減、節電の徹底、公共交通機関や自転車の積極利用、エコドライブの実践など、業務及び日常生活においても環境に配慮した取組を率先して実行します。

令和5年4月3日

長野県環境部長 諏訪 孝治